

大鳴門橋自転車道デザイン会議

令和9年度に「大鳴門橋自転車道」の完成が予定される中、多くのサイクリストや観光客の来訪が期待される鳴門公園及び周辺地域の「受入環境整備」や「魅力度向上」を図ることで、徳島県の「サイクルツーリズム」を推進する。

議論

受入環境整備

- 架橋記念館「EDDY」の役割
 - ・サイクルステーションとして求められる機能
(レンタサイクル、アメニティ等)
 - ・施設のあり方
(レストスペース、既存展示の見直し、新たな活用・展示方法等)
 - ・防災施設としての活用
- 道路の舗装補修、樹木伐採、滞在時間を延ばす駐輪環境
- ユニバーサル・デザインの観点からの対策、
初めて訪れた方でも分かりやすい施設案内
など

魅力度向上

- 公園内施設の魅力度アップ
 - ・千畳敷やお茶園など
 - ・フォトスポット
- 地域資源を活用したサイクリングルートの設定
 - ・渡船やウチノ海、グルメ、温泉など
- サイクリスト・観光客の利便性を向上するサービス
 - ・メンテナンスやトイレの場所などの情報提供
- 利用促進に向けた情報発信
など

今年度
5回程度開催

基本方針の策定

- 大鳴門橋自転車道開通後に目指す姿
 - ・サイクリストや多くの方が集う快適な環境づくり
 - ・安全で地域の魅力を満喫できる
 - サイクルツーリズムの実施
- 各関係機関が担う役割

今年12月頃 基本方針（中間とりまとめ：EDDY先行）

来年3月頃 基本方針（とりまとめ）

方針の具現化に向け、順次取組を推進

※「大鳴門橋自転車道検討部会」でも、周遊ルートの自転車走行環境の整備（路面標示や看板等）や、鳴門公園内の自転車通行方法、注意喚起の看板設置などについて議論を行う。